

### 不採用結果が出た会社への再応募

一度、不採用の結果が出た会社への再応募は、就業希望が残っていても気持ち的に中々し難いものです。会社(人事)の特性や価値観によりますが、不採用者の再応募を一定期間受け付けないところもあります。不採用通知を受取って直ぐの対応では無理(無茶)ですが、数ヶ月の期間を以っての再応募の場合、その会社で働き・自己実現を目指し、会社貢献を果たしたいとの熱意が伝われば、再度の機会を認めて頂ける場合も時にあります。

ダメもとをプラスに捕らえて諦めずに、積極的な働き掛けの実施が、「入社意欲」としてプラス評価に繋がる場合があることも忘れずにいましょう。

### アプローチする場合の留意点

過去に不採用を受けた旨の告知を必ず行い、再応募であることを事前に知らせる。

再応募の受付可否の確認と、面接機会の許諾をお願いする。

前回の反省・振り返りをもとにして(不採用結果の原因検討)、面接選考の機会を得る。

提出書類は、再度、新たに作り直しをする

前回の反省・振り返り点は、必ず反映する。

初回と同じ面接・質問内容にはなり難いため、客観的かつ具体的に、勤務に対しての思い、期待貢献度の説明・将来展望(キャリアプラン)等を伝えられるようにしておく。

面接終了時には、再度の機会を与えて頂いたことに対する礼状を結果に係わらず必ず出す。

人事は、一度、評価判断を出しています。

過去の判断が誤りだったとの方向に導くのではなく、再検討に値すると思って頂けるように、イレギュラーの対応機会を与えて頂いていることへの感謝と謙虚な姿勢で対応をする事がポイントです。